



# 国労仙台

No. 2569  
2009年12月25日  
発行責任者 橋本 昭二  
編集責任者 武田 昌仙

## 早期解決の機運をつくる

### 集会レポート 宮城県集会所から

12月8日、仙台市「ハーネル仙台」において、JR不採用事件の早期解決を求める宮城県集会所が開催された。集会には支援単組組合員など約二百名が参加。参加者は、一刻の猶予も許されない事件の早期解決に向けての決意を全体で固めあった。

#### 分割民営が根底に 主催者あいさつ



平労及川議長

集会冒頭、主催者を代表し、宮城県平和労働会議及川光行議長は、「規制緩和により労働者の労働条件を始め様々な制度が改悪され続けられてきた。その根底には国鉄『分割・民営化』がある。これらに対する国民の反撃が民主党連立政権に繋がった。連立政権の中でこの問題を解決するために奮闘しよう」と述べた。

#### 国交省を動かす 神宮議長報告

来賓として挨拶に立った

同機構からは「国交省からの指示があれば動きやすい」との発言があり、「4者・4団体」では12月11日に運輸機構へ、12月14日には国交省へ「早期解決に向けての要請」を行う。



報告する神宮議長

情勢報告として、国鉄闘争全国連絡会議神宮義秋議長は、1047名のうち既に59名が他界し、また国労の966名中200名が60歳を超過、「4党合意」をめぐる不団結の時期があったが、現在は「4者・4団体」で一体となり前進

08年7月、東京高裁南敏文裁判長の「ソフトウェア」グ出来ないか、「解決に向けてお互い努力を」との前置きの発言に対し、国労は正面から受け止めた。また当時の冬柴国交大臣は「誠心・誠意努力する」と発言、08年9月公明党は「対応委員会」を立ち上げた。新政府になり鉄道運輸機構国鉄清算事業本部へも要請を行っている。

#### 単産報告

単産報告として、全自交宮城地方本部の峰岸明広委員長は、「規制緩和により、仙台市内では台数が大幅に増加したが、タクシー新法によりそれを食い止め、労働条件改善に向け動きつつある。今後、労働組合の役割がより重要であり、安全確保と働きやすい職場環境を求め、JR不採用問題と合

- 12・4 福島地区集会所(25名)
- 12・5 若松地区集会所(30名)
- 12・5 東日本本部組織部長会議
- 12・6 山形地区集会所(30名)

- 12・10 小牛田地区集会所(28名)
- 12・6 安全問題プロジェクト会議
- 12・10 JR不採用事件宮城県集会所
- 12・10 第2回執行委員会・闘争委員会

#### 闘争団決意表明

仙台闘争団高橋敏夫団長は、今日までの支援に対してのお礼と、解決までの更なる支援を要請すると同時に「労働者の団結で安心して暮らせる社会をつくろう」と決意を表明。

続いて、稚内闘争団から現在宮城県に物資販売オールドで訪れている鈴木勝副団長は、この間の支援にお礼を述べると共に、今回も変わらぬ支援を要請し、また最後まで闘い抜くと決意を表明した。

#### 2・16は解決集会

国労仙台地本橋本委員長は、「23年間、闘いの支援



に感謝する。今後も「4者・4団体」は団結を強めて前進する。来年の2・16集会は解決報告集会をしよう」と述べた。

最後に平和労働会議大沼元副議長の「JR不採用事件の早期解決を求める決議(案)」の提起があり、全体の拍手で採択された。

## 山形で地区集会

地方本部は、当面する取り組みについての意思統一を図るため、各地区での集会を開催しているが、今回は12月6日に開催された山形地区集会所から報告する。

#### 意見など

春闘時期の取組みについて、連合分会のため、一人職場では現場長交渉作れない職場も、他職場に赴いての交渉は困難。会議室の借用も同様。

本日、分会大会開催で20名が発言。要員、休憩室、トイレなど、地本・職協の団交を活用したい。

制度、研修の扱い。代用証が出なかつたり、非番での超勤での取り扱いもあり不平等。

振動病の関係での健診はあるのか。

検修職場の合理化提案。近々支社でも提案があると思うが、休日など労働条件が低下する。東会社から出向先会社へ意見が通じるようにしてもらいたい。

設備メンテナンス。どこまで話が進んでいるのか？

出向者の労働条件。JR会社指定した労働条件を下回った場合、会社がP社を指導し是正させる約束を。一人または、少数の組合員で、職場のなかで頑張っ

#### 答弁など

春闘の取組み。知恵を出し合い臨機応変に。会社と必ず対峙しなければならぬ。研修は制度の問題。会社は頑なであり、改善についてはエリアにも要請する。

振動病。会社は毎日ではないので必要ないとの考え。現時点では、エリアの団交が始まる段階。第二次の解明要求等への提出を。ただエリアでは出向先の会社で団交が出来るように議論を進めている。

提案すると決まっているのみ。年内の提案か年度内なのか不明。会社側を逃がさない交渉が必要。

【山形県本部・伊藤通信員】

# 仙総支部が大会

国労仙台総合車両所支部は11月28日、こくろう会館において第23回定期大会を開く。支部を代表し庄司委員長は以下の挨拶を述べた。

## 庄司委員長挨拶

### 不採用事件

既に22年が経過。59名の闘争団員が他界した。「今年こそ解決を」の決意で闘いを進めてきたが、残念ながら現在に至っている。だが4者・4団体の団結を堅持し、本部を先頭に大衆行動の強化、各層多層活動、闘争団の自活体制の強化として毎月の物販活動等、大きな実績を残してきた。自信を持ち継続を。

また塩竈地区平労の協力で12月14日に、JR不採用問題の早期政治解決実現を迫る塩竈集会を開催する。取組みの強化と共に、この闘いが国労だけでなく様々な支援の輪と共に続けられてきた重さを受け止めたい。

### 反合理化・労働条件改善

定年退職や新たなライフサイクル等による転出と新入社員のアンバランスが継続中。会社は技術継承問題、安全輸送体制確立の考えがあるのか。09年度総合車セ改善提案では外注拡大・郡山への委託などの合理化提案されたが、資料の不備や

# 置賜で共闘会議が集会 鉄建公団訴訟佐久間事務局長を招いて



11月21日、置賜総合文化センターにおいて、国鉄闘争支援置賜地区共闘会議主催の「11・21国鉄闘争現状報告」が開催された。

集会では前段に北海道で放送されたJR不採用問題の特番番組2本を上映。その後、支援共闘会議の事務局である我妻徳雄市議の司会で開会した。

主催者を代表し、佐藤清蔵氏（全通OB）が挨拶を述べた後、鉄建公団原告団・佐久間誠事務局長より『現在までの政治の到達点と裁判闘争の現状』と題した情勢報告が行われた。佐久間氏は「23年間紆余曲折はありながらも、大衆闘争と裁判闘争・政治対策を行ってきた結果として現在がある。すでに59名の闘争団

員が他界し、早期解決に向けて一刻の猶予も許されない。政治解決を求めて民主党を窓口にもう一步の所まで来ている。最終局面を迎えている不採用問題の解決に向け、最後の力を貸してほしい」と訴えた。また山形県内で物販販売オルグを展開していた音威子府闘争団の関野副団長が闘争団の現状報告を行った。

支援共闘会議には多くの民間労組の組合員が加入しており、この集会にも多くの仲間が駆けつけた。

支援労組の中には、自分の会社の行く先が危うく、一時帰休や年末一時金もゼロからの交渉となるなど、大変な職場の状況の中にあっても、「国鉄闘争は自分達の問題」であるとして、共闘し続けている仲間も。その意味でも負けられない闘いであるし、地域労働運動の前進に向け奮闘する決意である。

【山形連合：堀内通信員】

約70名の加入、地本では、この一年間で5名の拡大。この間、各級機関が開催する組対会議や交流会に積極的に参加。進んだ運動に学び、支部組対会議で議論を深め、支部・分会の加入呼びかけチラシの取り組み等を実践してきた。我々一人ひとりが運動員であることを自覚し奮闘を。課題は多いが、それぞれの課題にしっかりと向き合い取り組む。

## 役員体制

執行委員長 庄司 修  
執行副委員長 阿部 春雄

# 郡工支部が大会

## 郡工情報19号より

11月23日に、橋公民館で第79回定期支部大会を開催しました。今大会には、東

書記長	原子 清貴
執行委員	遠山 政孝
	渡辺 一則
	原田 靖
	及川 正昭
	山口 智
	加成 三男
	多賀 貴弘
会計監査	

日本工作協議会の小野議長と、仙台地本から橋本委員長と、新しく書記長になられた五十嵐前業務部長が参加されました。大川原副委員長の開会の挨拶で始まり、橋本委員長が支部を代表しての挨拶があり、その後、郡山地方労の柳田議長や多くの来賓の

方からご祝辞を頂きました。県教組の佐藤書記長からは、非常に厳しくなってきた教育現場の実態が報告され、「郡工支部の運動は見習うところが多くあり、今後も一緒に頑張っていきたい」との発言がありました。

退職者組合の齋藤元委員長も大変元気でした。小野議長から「エルダー制度に伴う外注化等に対する郡工の運動が、東日本工作の運動に大きく影響を与えてくれている。今後も連携を密にして運動をすすめていきたい」との発言があり、橋本本地本委員長からは、今日までの闘争闘争を含めた運動の報告と、日程を含めた今後の提起がなされました。

議事に入り、執行部から経過・財政・運動方針の提案をして、質疑では、外注化問題、エルダー制度、55歳減額問題等、多くの意見が出されましたが、組合員の構成年齢が高くなってきている事もあり、エルダー制度についての問題点の発言

# 春闘事務局が始動

地方本部は、11月27日に第一回2010春闘事務局会議を開催し、来春闘に向けた取組みを開始した。第一回の事務局会議で確認された事項は、

- 第三回：1月19日（火） 18時40分
- 第四回：2月18日（木） 18時40分

## 総行動の目的

大幅賃上げ獲得のための取組み  
仕事や職場環境および生活の見直しと、それらの改善の取組み  
組織の強化拡大  
分会や支部の取組みの成果と教訓を持ち寄る  
国労の取組みを内外にアピールする  
春闘を社会へアピールする

第二回：12月17日（木） 18時40分

【郡工支部：千葉通信員】

退職のお知らせ  
11月30日  
鈴木 健次さん  
岩沼駅連分会  
稲村 英雄さん  
会津若松地区分会  
佐藤 法夫さん  
郡工支部装置科分会  
大内 啓司さん  
郡工支部貨物分会  
安田 健二さん  
仙台駅連分会  
長い間お疲れ様でした

## 役員体制

執行委員長 橋本 守弘  
執行副委員長 大川原邦幸  
書記長 橋本 光一  
執行委員 千葉 秀治  
本田 要一